

インクルーシブな社会のための インクルーシブ教育の在り方

2021年2月10日

岐阜市「ポストコロナの都市のあり方検討」有識者ヒアリング

(株) LITALICO LITALICO研究所 所長

博士（障害科学）

野口 晃菜

メールアドレス：akina.noguchi@litalico.co.jp

自己紹介

1997年 渡米
2004年 帰国、筑波大学入学
2010年 小学校講師
2011年 (株) LITALICO入社
2018年 博士号 (障害科学) 取得



LITALICOにて支援の質保証の仕組みづくりの他、公教育・自治体・少年院や大学との共同研究・モデル事業等を担当。

文部科学省「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」委員、通級ガイド作成委員、東京都生涯学習審議会委員など。

ビジョン

障害のない社会をつくる

障害は人ではなく、社会の側にある
社会にある障害をなくしていくことを通して
多様な人が幸せになれる「人」が中心の社会をつくる

LITALICO
りたりこ

事業全体像



※数値はすべて政府統計等を元に当社試算



今日の流れ

1

インクルーシブな社会とは

2

インクルーシブ教育とは

3

インクルーシブな社会・教育
のためにできること

今からみなさんに10点渡します。

**次からの質問に当てはまる場合は1
引いて、当てはまらない場合は1を
足して行ってください。**

練習

今日の朝ごはんはパンだった。



練習

今日の朝ごはんはパンだった。

パンだった人は -1 で残り9点
パンじゃなかった人は $+1$ で残り
11点

1問目

電車に乗るときに一人でのいることが
できなかった経験がある。



2 問目

学校で授業を聞いている時
頭が？？？になった経験がある



3 問目

お腹がすいているのに
ごはんが食べられなかった経験がある



4 問目

誰も相談できる人がいなかった
経験がある



5 問目

学校に行きづらかった経験がある



6 問目

家に帰るのがつらかった経験がある



7 問目

肌の色や髪の毛を理由に
不必要な質問やコメントをされたこと
がある。



8 問目

トイレに行きたいのに
行けなかった経験がある。



9 問目

見た目でバカにされたことがある。



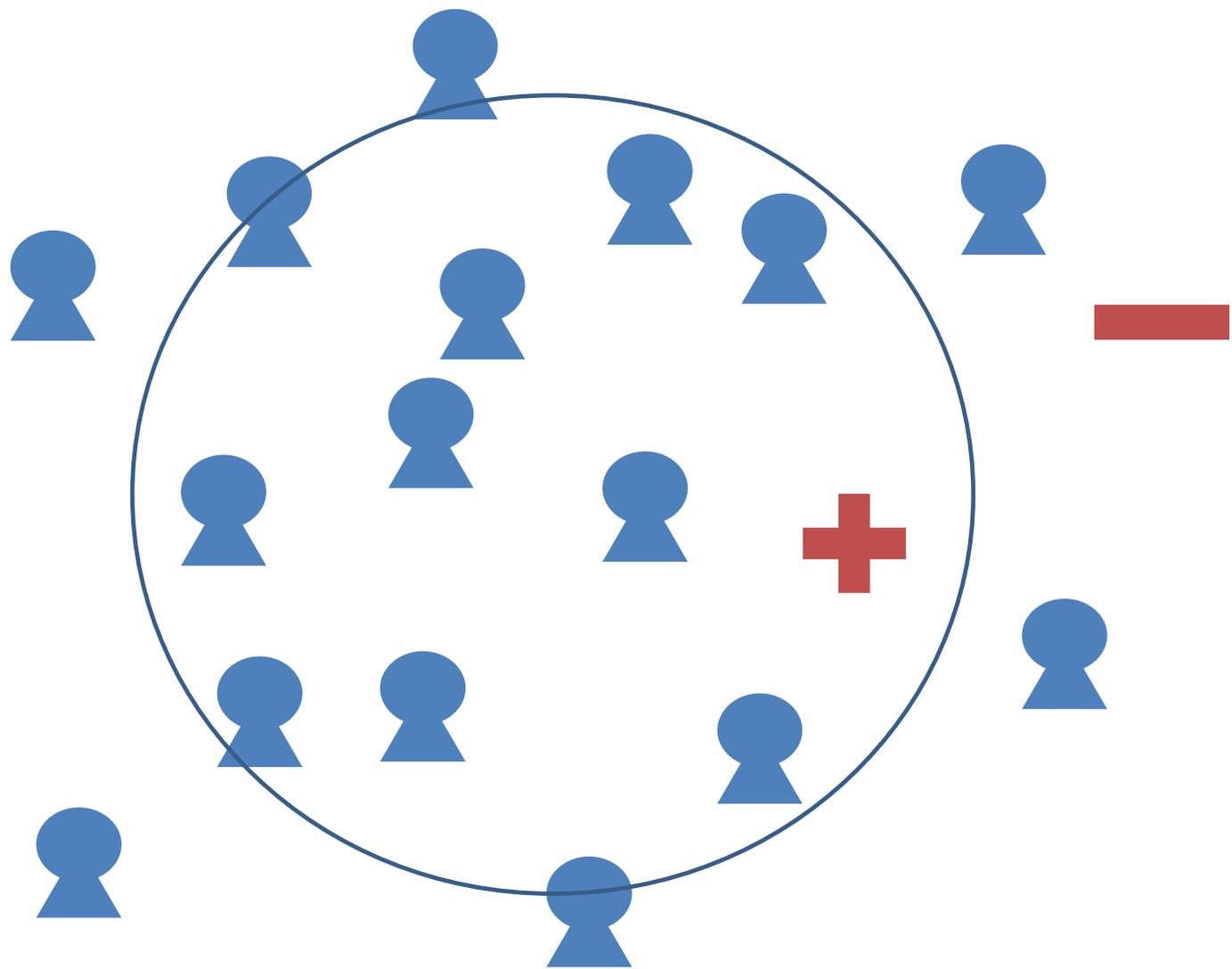
10問目

**出身、年齢、性別、障害、家庭環境
などを理由に
不公平な対応や理不尽な対応をされた
ことがある。**

何点でしたか？

ーが多い人は
なぜーが多いのでしょうか？

今の社会

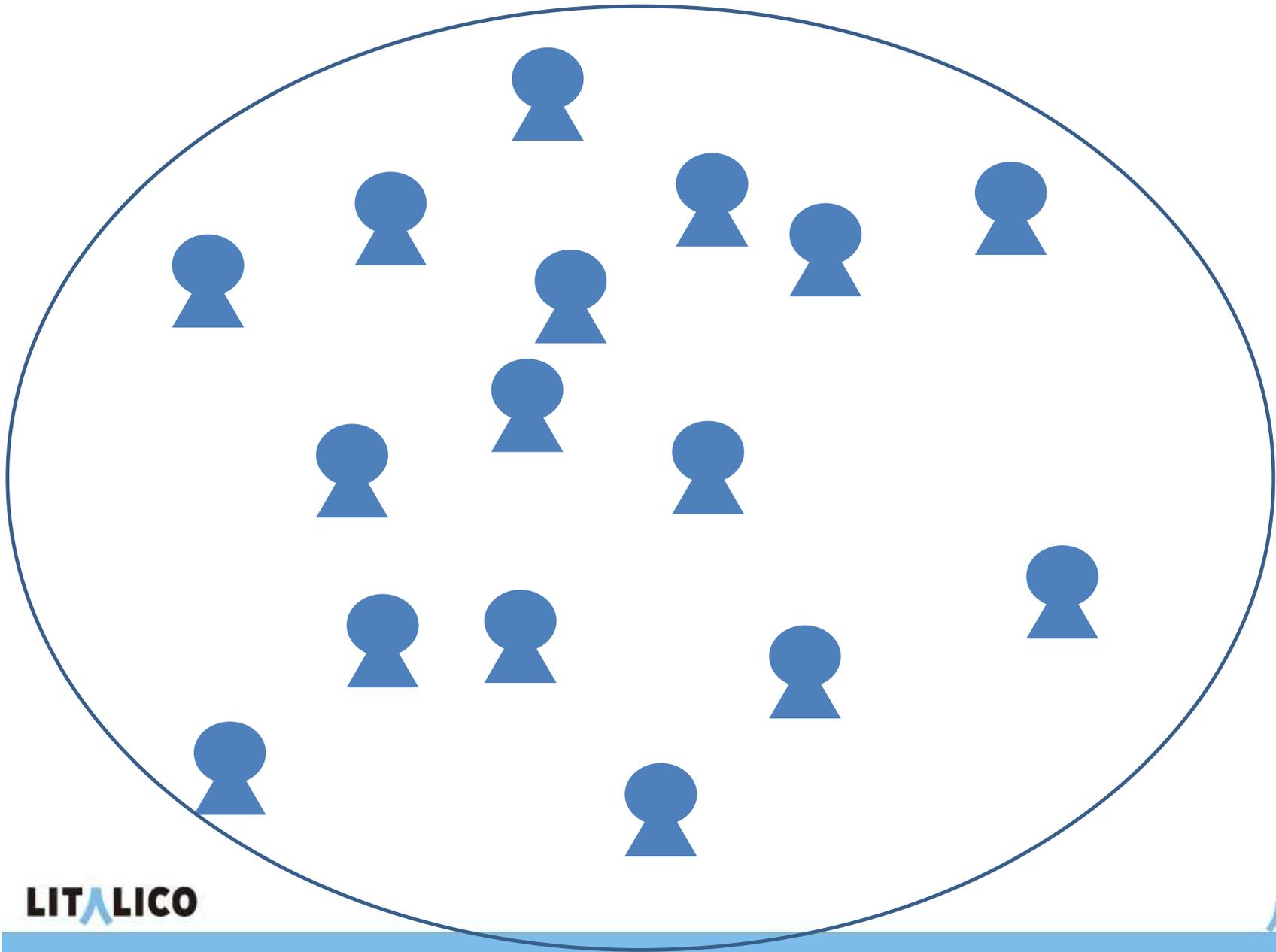


**+が多い人 = 特権者
(privileged)**

たまたま生まれた環境や属性により、今の社会のままに恩恵を受けている人。

**+が多い人（特権者）は、
-が多い人にとって生きづらい
社会であることに
気が付きにくい。**

インクルーシブ（=包摂的）な 社会



**インクルーシブ（=包摂的）な
社会とは、
年齢、性別、人種、障害、経済状
況などによる差別・排除がなく
多様な人が生きやすい社会**

社会はマジョリティ仕様に作られている

- 障害のある人が困難さを感じる理由は、「障害があるから」ではなく、社会がマジョリティ仕様につくられており、マイノリティである障害のある人たちが想定されていないから
- 障害のある人自身が今の社会に適応していく考え方もあるが、社会の側がその人に合わせてアップデートをしていくことが必要。
- 他のマイノリティについても同様。

今日の流れ

1

インクルーシブな社会とは

2

インクルーシブ教育とは

3

インクルーシブな社会・教育
のためにできること

インクルーシブ教育とは

1

教育からの排除をなくす

2

共に過ごす×共に学ぶ

3

「多様性」は障害だけではない



1

教育からの排除をなくす

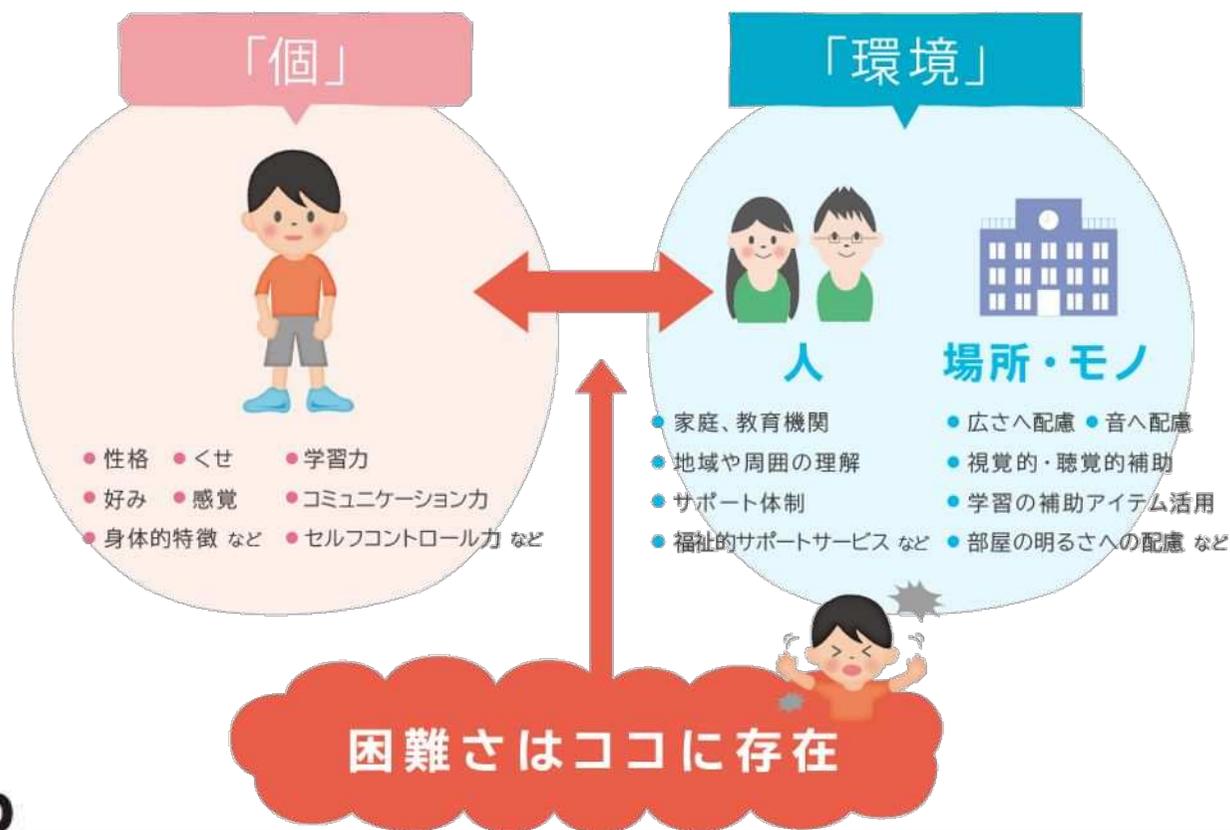
全ての子どもはひとしく
教育を受ける権利がある。
それは「条件付き」の権利ではない。
そこから排除される
= エクスクルージョン



(診断としての) 「障害」 ≠ 「困難さ」

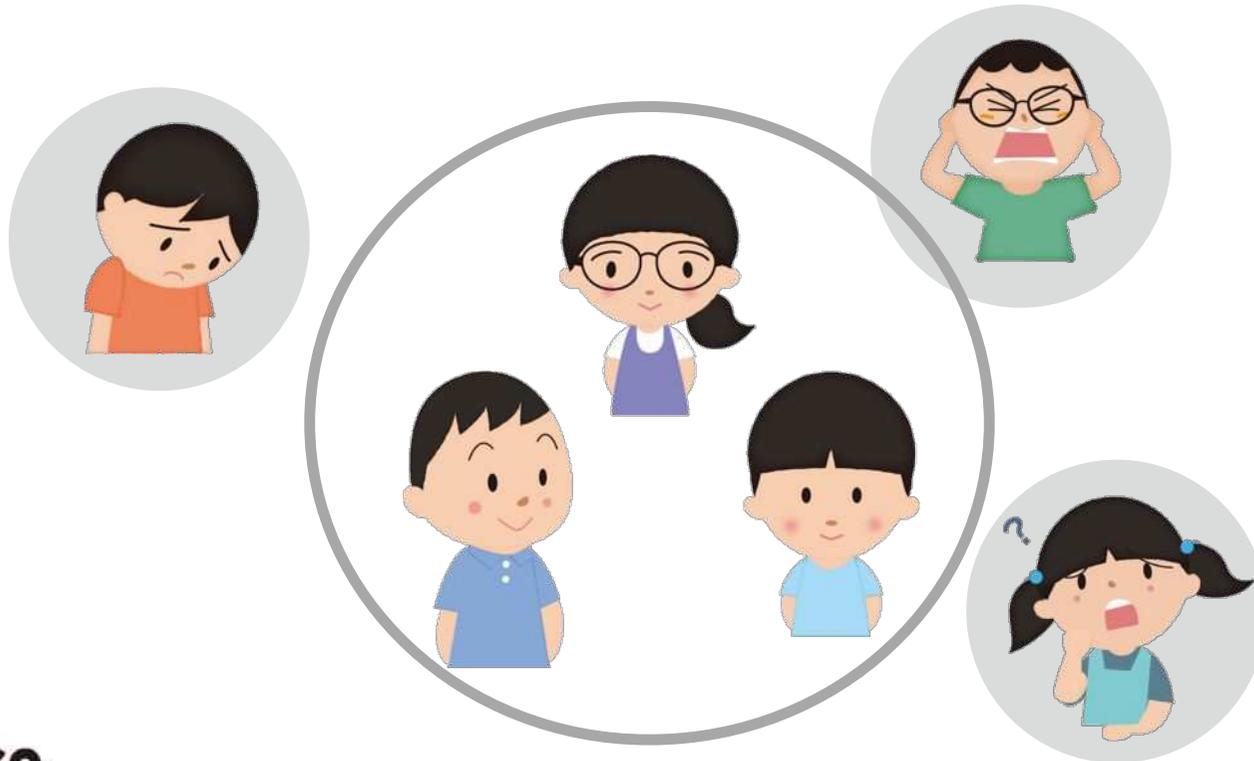
個が有する障害特性そのものが困難さの原因ではなく、個と環境との相互作用により困難さが生じる。

環境次第で困難さは軽減できる！



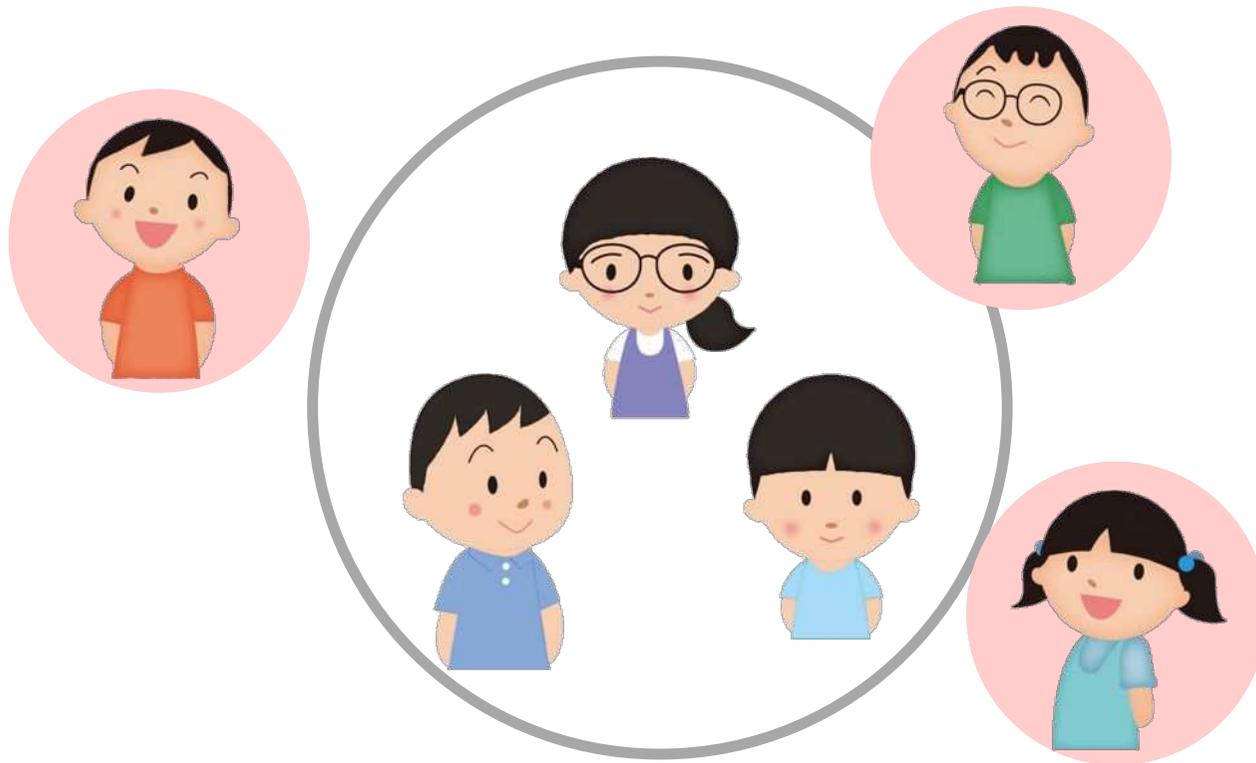
エクスクルージョン

学校からの物理的な排除
教育を受ける権利が保障されていない状態

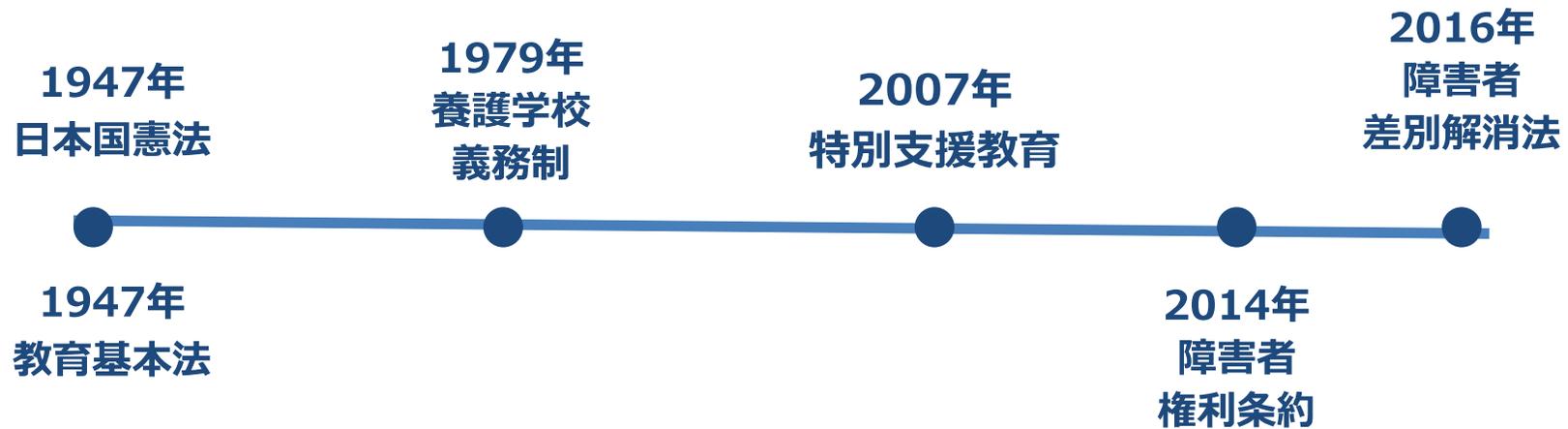


インクルーシブ教育

どの子どもであっても等しく
教育を受ける権利が保障されている



教育からの排除をなくすための施策



2

「共に過ごす」と「学びへのアクセス」

Dさんは6年生。支援学級に在籍しながら、たまに通常の学級に交流しています。通常学級にいる時、授業の様子が全然わからないので、おとなしく座って消しゴムいじりをしています。

何が問題？



どちらかではなく両方！

共に
過ごす



必要な
学びへ
アクセスする

共生社会の形成

人間の多様性等
の強化

最大限の発達と
自由な社会参加

共に学ぶことを
最大限追求

具体的な施策

就学先決定は
本人・保護者の
意向を尊重

個々のニーズに
合わせて多様な
学びの場を用意

基礎的環境整備
合理的配慮の
提供

教員の
専門性向上

障害者差別解消法（2016施行）

障害者差別解消法の目的

すべての国民が障害の有無によって
分け隔てられることなく、
相互に人格と個性を尊重し合いながら
共生する社会の実現

不当な差別的
取り扱いの禁止

合理的配慮の
不提供禁止

※国の行政機関・地方公共団体等は両方法的義務

※民間事業者は不当な差別的取り扱いは法的義務、合理的配慮については努力義務

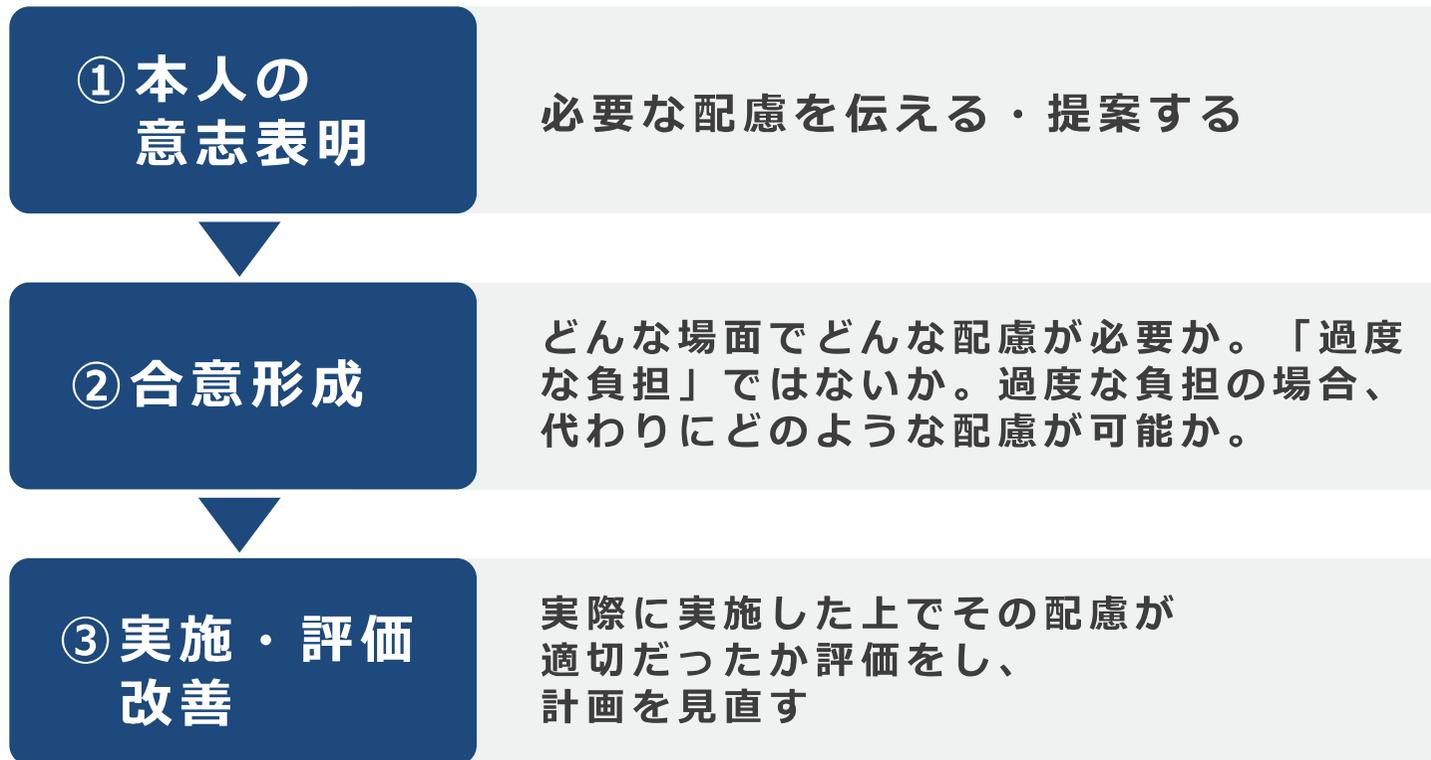
土台には「人権」 一人ひとりの学ぶ権利を保障

「障害」のある子どもの人権

子どもの人権

全ての人の人権

合理的配慮は合意形成のプロセス



※原語はReasonable accommodation. Accommodationは「便宜をはかる」「調整する」

<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai/kihonhoushin/honbun.html>

3

対象は「障害」だけではない



<https://www.joicfp.or.jp/jpn/2019/12/19/44893/>

上場企業の女性役員
7%

女性の衆議院議員
9.9%

女性管理職
11.8%



働いていない障害のある方

3%

214/6855(万人)※1

85%

302/355(万人)※2

※1 労働力調査(詳細集計) 2020年(令和2年)4~6月期平均結果のうち、労働力人口を未就業者で割った%

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/4hanki/dt/index.html>

※2 労働可能人口(18歳~65歳の在宅者)から障害者雇用の実数を引いた数を労働可能人口で割った%

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouseiteikyoku-Soumuka/0000178930.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/11704000/000533049.pdf>



職場における
カミングアウト
5.9% (ゲイ)

職場で困りごと
トランスジェンダー
54.5%

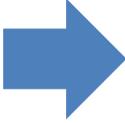
職場で冗談やからかい
24.8%
(トランスジェンダー)



**私たちは小さいころから
メディア・学校教育・家庭において
様々なバイアスに
さらされている。
誰もが染みついている。**



・バイアス
「障害者は能力が低い」
・「女はこうあるべき」
・「男はこうあるべき」

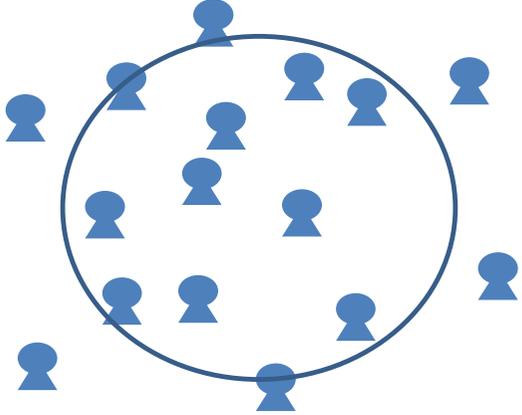


今の社会のままでいい



バイアスの
再生産

障害者は能力が低い
できないことばかりだ



マジョリティにとって都合の良い社会のまま
LITALICO



国会のバリアフリー化



隠れたカリキュラム

人権感覚の育成には、いわゆる「隠れたカリキュラム」が重要である。

「隠れたカリキュラム」とは、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童生徒自らが学びとっていく全ての事柄」を指す。学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものである。

文部科学省 人権教育の指導方法等の在り方について
第1章第1節 3人権感覚の育成を目指す取組

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/jinken/06082102/004.htm

隠れたカリキュラムの例

- ・「そんなに宿題忘れるばかりだったらひまわり学級に行きなさい！」
- ・家庭科の時間、女子は複雑な工程の料理、男子は簡単な工程の料理
- ・テストで点数が低い人は掃除を人より多くやる
- ・先生同士がお互いのちがいを認めていない

今日の流れ

1

インクルーシブな社会とは

2

インクルーシブ教育とは

3

インクルーシブな社会・教育
のためにできること

インクルーシブ教育のためにできること（案）

- ①学校自体を教師の人権が保障される職場へ
- ②インクルーシブな社会・教育について管理職を中心に共通理解
- ③管理職や教師自身が様々な世界を知る機会の設定、自らのバイアスに気づく機会設定
- ④学内・学級内の隠れたカリキュラムに自覚的になり修正する機会の設定
- ⑤ちがいを前提とした学校・学級・授業づくりができる仕組みづくり
- ⑥特別支援学級・通級による指導の質の向上のための仕組みづくり

当たり前を疑い、ちがいを楽しむ



多様性を前提とした ユニバーサルな学級・授業づくり

学級づくりの工夫

- ▶ 場の構造化
- ▶ 刺激量の調整
- ▶ ルールの明確化
- ▶ クラス内の
相互理解の工夫

授業づくりの工夫

- ▶ 時間の構造化
- ▶ 情報伝達の工夫
- ▶ 参加の促進
- ▶ 内容の構造化

学級づくりの工夫

相互理解の文化

「わたしの取扱説明書」をつくろう

月 日

★「わたしのトリセツ」を作りましょう
項目に沿って、自分の取扱説明書を作ります。客観的に自分を見つめてみましょう

1. 特徴・概要	
2. 安全上の注意ーこれをしたら危険！ー すぐく傷つけちゃうかも。怒らせちゃうかも。	
3. これをしたら喜びます！	
4. 私にイライラした時、私が周りの人を 困らせている時はこうしてください！	
5. こんな時に助けて欲しい！	
6. 備考	

COPYRIGHT © 2016 LITALICO Inc. ALL RIGHTS RESERVED. fiscal: 000050

授業づくりの工夫

参加の促進 自分に合っている学び方を選択



歌で覚える



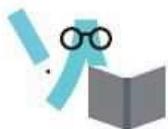
ロープレ



書いて覚える



写真と
結びつけて



個別支援計画サポートシステム

ICT を活用し、障害のある子どもへの個別化した教育の提供をサポート



①多面的なアセスメント
(行動やスキル等)



②目標と指導のポイント
をレコメンド



③目標に応じた教材や
プログラム、指導動画を提示

- アセスメントに基づく個別支援計画の作成に関し、専門的な見地からのレコメンドにより計画と指導内容の質的水準を確保
- 計画作成や教材作成に関する支援者の負担軽減
- 将来的には学校・家庭での様子、医療や福祉機関の記録を集約し情報共有を効率化

(注) 行動については Strength and Difficulties Questionnaire を使用、スキルは独自の尺度を使用してアセスメントを実施。

参考書籍

